

「甲辰」「努力」

2月に入り、寒さも厳しさを増していますが、雪かきに追われた昨年と違い、今年はグラウンドも土が見えているほど雪が少なく、過ごしやすい日々が続いています。

今年の干支は「辰」。古来より中国で権力の象徴とされ、縁起の良い生き物とされてきました。また、東京スカイツリー開業、2000円札発行、青函トンネル開業、1964年東京五輪などの国家プロジェクトが始まることが多いのも辰年の特徴です。さらに、今年は甲辰（きのえたつ）という60年に1度の年だそうです。「甲」は物事の始まりという性格があり、「辰」は成長の年なので、これまで努力してきたことが、グンと飛躍して、さらなる成長が期待できると言われています。



さて、1月には能登半島地震があり、大きな被害がありました。まだ、余震も続いている。被災された皆様及びご関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。あらためて、避難訓練などの「命を守るためにの教育」の大切さや災害時の家族との約束事などの確認の必要性について考えさせられました。災害は、いつ、どこで、どんな場面で起こるかわかりません。学校でも避難訓練などで身を守る方法について指導していますが、連絡方法や待ち合わせ場所などについて、ご家庭でも話題にしていただければと思います。

3学期の始業式は、コロナウイルス感染症や、インフルエンザの影響もなく、久しぶりに講堂で行うことができました。対面で実施でき、集まった子供たちの元気な顔を見ることができ大変嬉しく思いました。

式では、「一日一日の体や頭の成長は自分ではなかなか気がつきませんが、毎日毎日の努力が自分をつくっていく」こと。「努力する自分になってほしい」こと。「自分で立てためあてや計画の実行に、3学期も努力してほしい」ことなどを話しました。

あと2ヶ月足らずで今年度も終わり、子供たちは進学・進級します。授業では意欲と集中力、家庭学習では継続力の有無が、学習内容の定着に大きく影響します。学習したことはその学年のうちにしっかりと身に付け、やるべきことを成し遂げた満足感と、多くの自信をもって新しい学年に進んでほしいと願っています。

子供たちの健やかな成長に向け、共通理解を図りながら、教育活動を進めて参ります。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

